

外傷の応急処置について



総合診療科

はたで やすひこ
幡手 泰彦

山香病院だより vol.170

みなさんこんにちは。山

香病院に赴任して2年目となりました総合診療科の幡手泰彦と申します。院内業務以外に訪問診療も担当させていただいております。これからも地域医療に貢献できるよう努めてまいります。

今回はよくみる創傷の応急処置についてお話しさせていただきます。ここでの応急処置というのは縫合などの医療行為ではなく受傷してから病院受診までに行うことのできるものとなります。実際に昨年度経験したケースから紹介させていただきます。

●表皮剥離創

高齢の方に特に多いです。高齢者は皮膚が脆くちよつとしたことで表皮剥離や内出血が起こります。皮膚が残っている場合は皮膚を元の位置に戻して皮膚固定用のテープで皮膚を合わせます。受傷後から時間が経過して創部が乾燥している場合や表皮(皮膚の一番外側)が巻き込まれている場合、創汚染がある場合は治るのが遅くなります。受傷当日または翌日に受診をするようにしてください。サラップを巻くと乾燥を防ぐのに有効です。また創部に皮膚汚染があれば水道

水で洗ってください。

●出血創

動脈損傷や抗血小板・抗凝固薬(血液サラサラの薬)、血液疾患等で血が止まりにくい場合は出血量が多くなります。タオル等でただちに圧迫して創部をなるべく心臓より高い位置に持ってくるようにしてください。

●動物咬傷、汚染創

創が汚れていると感染を来すことがあるため、動物に咬まれた場合、創に土や砂が付着している場合など創が汚染されている場合はしっかりと創の洗浄を行わなければなりません。場合によっては重篤な感染症や破傷風のリスクがあります。犬に手を咬まれたけど傷が小さいため受診せずに経過を見ていたら手が大きく腫れてしまった方がいました。受傷当日か翌日には受診をするようにしましょう。

高校生、大学生などの皆様へ 3回目接種をご検討ください

接種費用
無料

オミクロン株は従来株より重症化率は低いものの、感染力は強いいため、感染拡大による重症例の増加が懸念されています。若い人であっても、**新型コロナに感染した後、重症化することや、長引く症状(いわゆる後遺症)が生じることがあります。**

1・2回目接種後、ワクチンの効果は時間の経過とともに低下していきませんが、同じワクチンを用いている18歳以上では、**3回目の接種を行うことにより、オミクロン株に対する感染予防効果や発症予防効果、入院予防効果が回復すると報告されています。**

16~17歳の方を対象とした研究結果では、オミクロン株流行期において、ワクチンの**2回目接種後**は、未接種の方と比べて、新型コロナ感染症の様な症状のための救急外来の受診を**34%減少させ**、ワクチンの**3回目接種後**は、同様の救急外来の受診を**81%減少させる効果**があったことが報告されています。

【接種の対象】 2回目のワクチン接種を終了した12歳以上の方

【使用するワクチン】

12~17歳の方は、ファイザー社のワクチンを使用(1・2回目の接種量と同じ量を接種します)

※杵築市では、4月以降から18歳以上の方もファイザー社ワクチンの接種を行っています。

※1・2回目に武田/モデルナ社ワクチンを受けた方も、ファイザー社ワクチンを受けられます。

☎ コロナワクチン接種対策室 ☎ 0978-68-8220